

国官参事第 2049 号
平成 25 年 2 月 22 日

日本航空株式会社
安全統括管理者 大西 賢 殿

国土交通省 大臣官房参事官(航空事業安全)
航空局安全部航空事業安全室長 高野 滋

ボーイング式 787 型機に係る燃料漏れについて

本年 1 月 9 日（日本時間）、ボストン・ローガン国際空港において、日本航空所属ボーイング式 787 型機（JA824J）が、離陸のための地上走行中、左翼先端付近から燃料が排出される事案が発生した。また、同月 13 日、成田国際空港において、同機の左翼先端付近から燃料が排出される事案が発生した。

航空局においてこれらの事案について原因等の調査を行ってきたところであり、今般、別添のとおり調査結果を取りまとめたところである。

については、同種事案の再発を防止する観点から、当該調査結果に基づき、ボーイング式 787 型機に対し、下記の措置を講じられたい。

記

1. 中央燃料タンクを使用する飛行を行う場合には、整備士が毎飛行前に中央燃料ポンプを作動させて点検を実施し、意図しない燃料移動が発生しないことを確認すること。
2. 万一、飛行中に意図しない燃料移動が発生した場合には、左右の燃料タンクの燃料量に不均衡が生じた場合にとるべき乗員の操作手順に従うよう改めて周知徹底を図ること。
3. 改良型の燃料放出弁駆動装置を装備するまでの間、燃料放出弁を作動させた場合には、作動後に当該弁駆動装置が閉位置にあることを目視にて確認すること。

国官参事第2049号
平成25年2月22日

全日本空輸株式会社
安全統括管理者 中村 克己 殿

国土交通省 大臣官房参事官(航空事業安全)
航空局安全部航空事業安全室長 高野 滋

ボーイング式787型機に係る燃料漏れについて

本年1月9日(日本時間)、ボストン・ローガン国際空港において、日本航空所属ボーイング式787型機(JA824J)が、離陸のための地上走行中、左翼先端付近から燃料が排出される事案が発生した。また、同月13日、成田国際空港において、同機の左翼先端付近から燃料が排出される事案が発生した。

航空局においてこれらの事案について原因等の調査を行ってきたところであり、今般、別添のとおり調査結果を取りまとめたところである。

については、同種事案の再発を防止する観点から、当該調査結果に基づき、ボーイング式787型機に対し、下記の措置を講じられたい。

記

1. 中央燃料タンクを使用する飛行を行う場合には、整備士が毎飛行前に中央燃料ポンプを作動させて点検を実施し、意図しない燃料移動が発生しないことを確認すること。
2. 万一、飛行中に意図しない燃料移動が発生した場合には、左右の燃料タンクの燃料量に不均衡が生じた場合にとるべき乗員の操作手順に従うよう改めて周知徹底を図ること。
3. 改良型の燃料放出弁駆動装置を装備するまでの間、燃料放出弁を作動させた場合には、作動後に当該弁駆動装置が閉位置にあることを目視にて確認すること。